

令和元年度 学力向上に係る効果的な取組事例 「共に深く学び合う児童の育成」

白岡市教育委員会 白岡市立篠津小学校

目指す学校像『楽しく学ぶ、心をみがく、未来をかたる学校』

学校教育目標「知・徳・体のバランスのとれた児童の育成」
○自ら考えのびる子 ○思いやりのある子 ○進んで体をきたえる子

全国学力・学習状況調査や県学力・学習状況調査の結果や児童の実態から、国語の書く力、知識・理解に対する表現力、算数の数量や図形に対する技能や計算、数学的に考えて表現することに課題があることが分かった。また、道徳の学習を通し、これまで以上にお互いを尊重し合える児童を育成する。

「共に深く学び合う児童の育成」～協同的な学びにより、一人残らず参加できる授業づくりを通して～

主体的・対話的で深い学びの研究を通して、基礎基本を身につけ、お互いに表現し合い、共に学び合い高め合う児童を育成したい。

- ① 『学び合い』による一人残らず学びに参加できる授業の展開
- ② 協同的な学習を軸とした「主体的・対話的で深い学び」を目指した指導の工夫
- ③ 個に応じた指導と体験的な学習の充実

低・中・高の発達段階に合わせた
授業形態の工夫



ねえ、
ここどうするの？

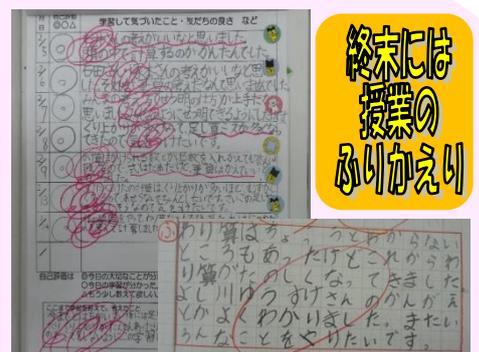
「ペア学習」



こんなやり方は
どう？

3～4人を基本とした
「グループ学習」

均等分割した
少人数指導



終末には
授業の
ふりかえり

教室掲示の充実



私のやり方は・・・

どう動かす？

国語科の授業を通して

考えを広げる活動

- 意見文、レポート等作成の前のテーマについて
- 説明文、物語文の際の感想や意見の交流
- 言葉探し ・ 俳句の題材探し など

考えを深める活動

- 説明文（段落の要点、要約）
- 物語文（心情、クライマックス、主題）
- 書く活動の文章構成や表現の検討
- 言語事項（言葉の使い方） など



友だちと、主人公の気持ちを話し合ったら、深く考えることができたよ。

道徳教育を学校全体で

- ①「篠津小道徳授業のスタンダード」の共通理解
- ②オリエンテーションの実施
- ③実践を広める「やさしさの花」



- ④お互いの顔を見合って、安心して話し合える授業



- ⑤「篠っこノート」を評価に活かす



- ⑥別業の全体計画と主題配列表のクラス掲示
- ⑦教材の整理と教具の作成



学びが深まる ジャンプの問題



ジャンプの問題一覧表

実践してきたジャンプの問題は蓄積し、検討していく！

第6学年 単元名「割合の表し方を考えよう」
7/9時

基本の問題

ケーキを作るのに、砂糖と小麦粉を重さの比が5:7になるように混ぜます。小麦粉を140g使ったとき、砂糖は何g必要ですか。

まとめ

比の一方の量を求めるには、一方の量を1とみたときの、もう一方の量の割合で表す。
求める量をxとして等しい式をつくる。

ジャンプの問題

Aの容器に入っている水の量とBの容器に入っている水の量の比は、5:4で、Bの容器に入っている水の量とCの容器に入っている水の量の比は、3:4です。Cの容器に入っている水の量を測ると240mlでした。ABCの3つの容器に入っている水の量の合計は何mlですか。

＜第5学年のジャンプの問題 実践例＞

単元名	本時の課題	ジャンプの問題	指導にあたっての留意点	
1学期	直方体や立方体のかさの表し方を考えよう	直方体の組み合わせた図形の体積の求め方を考えよう (5/10時)	計算ドリルの問題より汎用図形の形をもちいて考えれば、求められる。	
	り数のかけ算を考えよう	80×2、3の計算の仕方を考えよう (2/12時)	2mの靴もさが40gの針金があります。このはり金3、9mの重さは何gですか。	補充の問題の少し難しい問題を汎用図形の形をもちいて考えれば求められる。
	り数のわり算を考えよう	300÷2、5の計算の仕方を考えよう (2/14時)	135÷7、5の式になる問題を作ります。□に当てはまる数を書き、問題を完成させましょう。□Lのガソリンで20km走る自動車があります。1Lでは何km走りますか。	補充の問題の少し難しい問題を汎用図形の形をもちいて考えれば求められる。
	り数のわり算を考えよう	ねだんの上がり方を比べる方法を考えよう (11/14時)	2014年 6400円-2016年-7400円 2014年 60円-2016年75円 ねだんの上がり方が大きいのはどちらですか。	上がっている金額が異なるため、2014年を標準とすることで得意になっただけを考えさせる。
形も大きさも同じ図形を調べよう	合同な図形の重なり合う頂点や、角を調べよう (2/9時)	合同な図形の重なり合う頂点や、角を調べよう (2/9時)	補充の問題の少し難しい問題を汎用図形の形をもちいて考えれば求められる。	

成果と課題

- 「学び合い」の学習形態が次第に定着し、児童主体の授業展開がより多く行われるようになった。
- ペアや小グループでの学習で学び合い、児童同士が互いに説明をしたり聞いたりしながら、思考を深める姿が多く見られるようになった。
- 他教科での「学び合い」も自然と深まってきている。
- 児童がより意欲的に取り組み、考えを深められる学習課題をさらに考えていく必要がある。